

10:1 この後、アンモン人の王が死に、その子ハヌンが代わって王となった。

10:2 ダビデは、「ナハシュの子ハヌンに真実を尽くそう。彼の父が私に真実を尽くしてくれたように」と言った。そして家来たちを通して彼の父の悔やみを言うために、ダビデは彼らを遣わした。ダビデの家来たちがアンモン人の地に着いたとき、

10:3 アンモン人の首長たちは、主君ハヌンに言った。「ダビデがあなたのもとにお悔やみの使者を遣わしたからといって、彼が父君を敬っているとお考えですか。この町を調べ、くつがえすために、ダビデはあなたのところに家来を遣わしたのではないでしょうが。」

10:4 そこでハヌンはダビデの家来たちを捕らえ、ひげを半分割り落とし、衣を半分に切つて尻のあたりまでにして送り返した。

10:5 ダビデにこのことが告げられたので、ダビデは彼らを迎えに人を遣わした。この人たちが非常に恥じていたからである。王は言った。「ひげが伸びるまでエリコにとどまり、それから帰って来なさい。」

10:6 アンモン人は、自分たちがダビデに憎まれるようになったのを見てとった。そこでアンモン人は人を遣わして、ベテ・レホブのアラム人とツォバのアラム人の歩兵二万、マアカの王の兵士一千、トブの兵士一万二千を雇った。

10:7 ダビデはこれを聞き、ヨアブと勇士たちの全軍を送った。

10:8 アンモン人は出て来て、門の入り口で戦いの備えをした。ツォバとレホブのアラム

人、およびトブとマアカの人たちは、彼らだけで野にいた。

10:9 ヨアブは、自分の前とうしろに戦いの前線があるのを見て、イスラエルの精鋭全員からさらに兵を選び、アラム人に立ち向かう陣備えをし、

10:10 残りの兵を兄弟アビシャイの手に託して、アンモン人に立ち向かう陣備えをした。

10:11 ヨアブは言った。「もしアラム人が私より強かったら、あなたが私を救ってくれ。もしアンモン人があなたより強かったら、私があなたを救いに行こう。」

10:12 強くあれ。われわれの民のため、われわれの神の町々のために、奮い立とう。

【主】が、御目にかなうことをされるのだ。」

10:13 ヨアブと彼とともにいた兵たちがアラム人と戦おうとして近づいたとき、アラム人は彼の前から逃げた。

10:14 アンモン人はアラム人が逃げるのを見ると、アビシャイの前から逃げて町に入った。そこでヨアブはアンモン人を討つのをやめて、エルサレムに帰った。

10:15 アラム人は、自分たちがイスラエルに打ち負かされたのを見て、集結した。

10:16 ハダドエゼルは人を遣わして、ユーフラテス川の向こうのアラム人に出て来させた。彼らは、ヘラムにやって来た。ハダドエゼルの軍の長ショバクが彼らを率いていた。

10:17 このことが報告されると、ダビデはイスラエル全軍を集結させ、ヨルダン川を渡って、ヘラムへ進んだ。アラム人はダビデと対決する備えをし、彼と戦った。

10:18 アラム人はイスラエルの前から逃げた。

ダビデはアラムの戦車兵七百と騎兵四万を殺し、軍の長ショバクも討ったので、彼はそこで死んだ。

10:19 ハダドエゼルに仕えていた王たちはみな、彼らがイスラエルに打ち負かされたのを見て、イスラエルと和を講じ、イスラエルに仕えるようになった。アラム人は恐れて、再びアンモン人を助けようとはしなかった。

メフィボシエテに対して真実を尽くしたダビデは、さらにハヌンに真実を表しました。しかしハヌンはこれを仇で返したのです。メフィボシエテとの対比で考えると、神様の真実に対してどのようにするかが問われているようです。

主の御心に対して警戒したり、主を侮ったりすることは愚かなことであると気づくことができるでしょう。そのようなあり方を変えないでいると、このハヌンのようにになってしまいますから、私たちは主に頼り、主を敬うことを続けましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

